

荒川区

問 12-9

その他、長期にわたる避難生活を続けていく際の問題点として心配なこと、気がかりなことがありましたら、以下へご自由にお書きください。

注：[] 内は調査者による補足

■自宅等の管理、避難終了後の住まい

- ・ 現在の住まい（移動方法が回復していればちよくちよく見に来れると思います）。
- ・ 資産の管理。
- ・ 避難生活から戻って来た時に自分の家がどうなっているか不安。
- ・ 避難を終えたあとの新居のこと。
- ・ 財産保全の面で管理ができるか？
- ・ 避難生活後前居住地にもどれるのか？もどった時の建築費用の負担割合はどうなるのか？年金生活なので賃貸では生活設計が考えられない。
- ・ その際、家のローンと避難所での 2 重の家賃のお金が出せるのか。どこまで自分たちだけでやっていくのか。
- ・ 避難先として想定している地域には、人もいず、仕事もないため、結局、避難後に他の土地へ移らなければならない。その費用が捻出できるのか、仕事は見つかるのか、住まいはあるのかといった心配。日本の中心でもある東京が被災した場合、想定できない混乱が起き、避難先へ避難することができないのではないか。
- ・ 今の住居に住み続けられるのだろうか？ 途中で戻った場合、中野区から荒川区まで戻するのにどれくらいの時間がかかるのだろうか。情報の入手方法に関する不安（正しい情報がこまめに入るのか？）。金銭的不安（収入もなく、貯金がなくなったらどうするか）。
- ・ 避難生活の年数がどのくらいか？現在のマンションへ帰ることができるのか？
- ・ ここのマンションは建築法が変わって（5年前）から建ったもので、震度6強にも大丈夫と聞いています（ヒビ等は入る）。どんな状況になるか。決壊、津波の後のように何もなくなり、荒廃した状態になったら、困りますね。お水だけは常に充分確保しています。
- ・ 持家の保障が出るか、どうか。
- ・ 自宅のあった場所の財産権利に関する事。
- ・ 自宅の管理。
- ・ 自分が離れている間、空き巣に入られたりしないか。地盤が悪くなって、知らない間に家が倒壊してしまわないか。

■生活全般

- ・ その日暮らしのため、生活（生きていく事）を維持するのはむずかしいかな？

- ・ 今の生活とどの程度違いがでてくるのか？（不便さ） ペットは家族の一員なので、一緒に暮らし生活できるか？荒川区として避難生活する場所が決まっているのであれば教えてほしい（現時点で）。生活費。病院から受けている薬は引き続き頂けるのか？
- ・ 東日本大震災の後に生理用品や水がスーパー等の店頭から無くなり生活に困った（被害のなかった近畿地方でも同様）。避難できたとしても日常生活を送るのに時間がかかりそう。
- ・ 水や食料不足、治安。
- ・ 不自由な住環境全般。
- ・ 現在の住所に近い位置に仮設住宅ができるなら仕事（通勤）と学校（通学）に通うことができると思います。
- ・ 食料品の事ですが、水や火をすぐに使えればよいのですが、安全、衛生などを考えますとその対応がとても心配です。障害者、病気、ケガなどの心配、管理は大変と思いますがコンテナ（水や火に強くつぶれないような）のような、しっかりした箱、建築に保管し町のいたる所に設置しておくのはいかがでしょうか。
- ・ 健康面、精神面、全てにおいて心配です。
- ・ 元の生活をどれくらい取り戻すことができるのかという不安。期限があるのか。
- ・ 家族の健康、生活面、金銭的なことが、気になります。
- ・ 水、食料の確保、衛生面（入浴、歯磨き、洗面等）、子どもたちの学習の場、当座の衣類、親族で体調を崩している者がいるので安否も不安。
- ・ 生活していけるのか。
- ・ 全てに不安
- ・ 家族が日中は離れて仕事をしているので、まず家族に会えるのか。また、家族と一緒に暮らせるのか。隅田川の氾濫。生活費の確保、仕事と避難の両立、心身疲労、相談相手（高齢者へ目が行きがちだが若い世代の相談相手も必要）、衛生面。自分の将来。
- ・ 先のこと。自分のことはいいが親のことや子どもたちのことが心配です。
- ・ 結婚して別所帯になった娘家族と、支えあっていけるかどうか心配です。
- ・ 現在一人暮らしの高齢者（74才）ですが、一生の内一度有るかないかの災害に遭遇したのならトイレ、水、多少の食料が有ればそれ以上は考えられません。東京は多種多様な人たちの集所ですので、大きすぎにならなければいいナアと思います。
- ・ ①日常生活の買物の便利さ、②地域住民（顔見知り）同士が近くに居る事、③親身に相談に乗ってくれる公共施設の設置。
- ・ 子どものミルクやオムツなどの支給があるか不安。住む所があっても仕事ができるか不安。また購入した自宅に戻れるかどうか。
- ・ いつ自宅へ戻れるのか気になる。どれくらいの避難生活になるのか。仕事は続けていく事はできるのか。
- ・ 食料面や健康、衛生面など。
- ・ 避難生活の期間。
- ・ 住む所、仕事、生活費、ペット。これから年をとっていくので健康面。何から何まで不安だと思えます。

- ・ 一週間以上の避難生活をしなければならなくなったら、もう0（ゼロ）からの出発と半分以上はあきらめて、割り切らないとやっていけないと思います。
- ・ 会社、仕事、収入も心配ですが、一番は食事、食物の支給などがどうなるか心配です。
- ・ 独身生活で、兄たちも高齢のため、誰にも頼れずとても不安が強いです。
- ・ 離れた家族との連絡方法、幼い子どもの安全の確保、収入が止まってしまった場合、生活費はどうするか、住む場所が決まるのか。
- ・ 避難生活がいつまで続き、元の場所へいつ帰宅できるか？
- ・ 消費税が上がり、社会保障の方へまわされているが、長期間避難生活した時、その消費税が避難生活にまわされているのか？ 社会保障問題。国がどこまで援助してくれるか？
- ・ 生活全般、プライバシー。
- ・ 食料確保。
- ・ 食料の確保、風呂、衛生管理。
- ・ 全て。
- ・ お金、食料、トイレ、お風呂。
- ・ 住居、医療関係。

■仕事、収入確保、生活費

- ・ 定年以前であれば、現在の仕事の確保、継続。
- ・ 生活費が多分困ってくると思う。病院通いはどうなるかなと心配。子どもたちも皆、東京だったり、神奈川といっても東京に近いので被害にあえば同じようなものなのではと思う。
- ・ たただだ仕事及び金銭の事が心配です。
- ・ 経済的な事。収入の事。
- ・ 収入（勤務地都内のため）、病院（通院・投薬）、衣・食料品の確保、公共インフラの再開時期。
- ・ 収入の問題です。
- ・ 収入の確保がやや心配です。
- ・ 年金の問題だけ。
- ・ 仕事。収入。
- ・ 通勤等。
- ・ 東京での就職活動。
- ・ 収入がへること。精神的に耐えられるか。病気になりはしないか。気をまぎらわすものはあるか。まだまだ想像もつかない事があるかも知れません。
- ・ 収入、医療施設の確保、これが一番。年齢的に仕事が続けられるか心配です。希望の持てる国の方針が示せるか。
- ・ 安定した収入。住居。
- ・ 家族の仕事や収入確保のことや子どもたちの学校のことなどが心配。
- ・ 収入面の維持が一番心配です。
- ・ 仕事ができなくなり、収入がなくなります。

- ・ 年金が確実に手元にはいるか。
- ・ 自営業であるため、自力で自業を再開しなくてはならないと思っていますが、その際、返済不用な援助はあるか。仮設生活の場合、仮設所で自業をいとなめるのか、など。主として収入確保が重要問題です。
- ・ 金銭的問題（貯金がない）。
- ・ 生活費はどーなるかな？ 幼児がいるのでミルク、オムツなども心配です。
- ・ やはり収入の問題です（生活費等）
- ・ 生活費の確保が心配。
- ・ 勤務先へ戻れるかどうか。←公務員のため
- ・ 主人の仕事、子どもたちの仕事、学校をどうするかが心配です。
- ・ 仕事が見つかるかどうか。
- ・ 金銭面。ローンの返済と賃貸料（避難先）の二重支払いはかなりきつい。実家の親の健康（荒川と同様に、実家エリアも被害を受けると思うので）高齢なので、かなり不安。無理はできないはず。
- ・ 駐車場経営なので収入が心配。
- ・ 復興にどのくらいの時間がかかるか。収入をどうするか。
- ・ 私の収入で家族を養っているため、仕事ができなくなり収入がなくなるのが一番困ります。
- ・ 収入がなくなる。病気。
- ・ 経済面、子育て。
- ・ 収入がなくなること。新しい土地へ移るのはかまわないが、年齢で新しい仕事を探すのが難しくなると思う。
- ・ 収入源、高齢者向けサービス（医療、福祉等）。
- ・ 実家のある福岡へ避難するという選択もあるが、その場合、仕事というか収入、どうやって生活費を稼ごうか？九州の企業に就職するか？
- ・ 職場（収入）の確保。
- ・ 金銭的な（生活）事。
- ・ 経済面が心配です。ローン返済等が賃貸、及び、会社からの収入が、どのような状況になるのか、不安です。高齢の母の健康面が心配です。
- ・ 仕事の問題のみ。東京に本拠地がある自分の勤務している会社でどうやって働くことが可能なかによる。近畿や外国に拠点が移った場合はそこに移ることになるであろう。まったくどうなるかは想像できない。会社の動向に依存する。それを無視した想定ならば実家へ避難となる。
- ・ 生活費の調達、仕事（夫、長男の）確保。
- ・ 収入、子どもの環境。
- ・ 生活費、住宅ローン。
- ・ 費用。
- ・ 金銭的な問題があります。補助金はでるのか？
- ・ 1. 年金+地方の方への習い事で生計を立てているので仕事ができなくなることが心配、2. 家族に要介護者がいるので施設に通えるかどうか心配。

- ・ 仕事。
- ・ 金銭収入のめどが立つのか、どのくらい長期に渡り避難が続くのか、不明だとつらいと思います。
- ・ 生計、金銭的な問題のみ。
- ・ 自営業（メッキ）なので、被災したら営業できない。収入がなくなる。
- ・ 職場も都内であるため、都外への避難が必要ということは、仕事がなくなってしまう。都外にも系列の職場があるが、そこで働けるのかは不明。働けないと慣れない土地で就活をしなければならない不安がある。
- ・ 生活資金、ペット。
- ・ 収入、仕事、教育。
- ・ 生活の基盤が著しく変われば、収入の手段も変わって戻りたくとも戻れないのではないかな。
- ・ 銀行取引や税金はどのようになるのか？（毎月の引落とし）
- ・ 安定的に収入が得られるかどうか。生活レベル。離れて暮らす家族のケアが避難生活をしながらできるかどうか。
- ・ 仕事ができなくなり、収入が止まってしまった場合の保障。仮設住宅だと狭く、健康管理が上手にできるかどうか。人間ドック等無料で受診できるかどうか。日々の買物はどこでするのか。
- ・ そもそもその震災で自分（家族）が死んだら保険金が出るのか心配。ネットの設備。

■ 健康、医療、障がい、通院など

- ・ 健康問題。
- ・ 生活面、医療や健康面。
- ・ 週三回の人工透析、それにとともなう服薬の確保が心配です。
- ・ 高齢者には健康、病院、地域行政との連絡確保。
- ・ 医療、精神的な部分。
- ・ 収入確保が一番心配。東京で仕事ができなければ生活を続けていくことも不可能だと思われるので。病院も充実してほしい。保険もないだろうから無料でみてほしい。
- ・ 健康。
- ・ 医療関係の充実。
- ・ 医療介護サービス。年金の引き出し。スーパー等（生活用品の確保）。
- ・ 現在医者にお世話になっているので医療のことが心配です。
- ・ 年金と地代収入で生活している後期高齢者夫婦なので収入は心配してないが健康を維持していけるか（今は2人とも元気だが）それが問題です。
- ・ 生活の事。健康の事。病院。介護の事。
- ・ 在宅酸素を使用しているため。その継続ができる場所でないと避難生活を続けられない。
- ・ 高齢で一人暮らしなので医療的なことが心配です。高圧剤等の服用をしています。
- ・ この先どんどん高齢化しますので健康問題が心配。
- ・ 現在病気をかかえて時に入退院の繰り返しです。避難生活には耐えられないと思うか

ら。

- ・ 私は難病をわずらっていて、特定の医師の元で治療／投薬を受けています。避難が長引くと病状が悪化する心配が有ります。死ぬ病気ではないと言われてますがあまり知られてなく、見た目健康にみえるので理解されにくい病気ですが死ぬほどつらい病気です。
- ・ 糖尿病のため薬が心配で。
- ・ 健康状態。
- ・ 健康管理ができるのであろうか？心身ともに健全でいられるのか？仕事等も含め、不安要素は大きい。
- ・ 年齢的に健康の事が心配、心身的にストレスが留まっている者同志うまくやっていく自信がない。
- ・ 今のところ健康ですが、後期高齢者ですので心配です。
- ・ 持病を持っている事。
- ・ 肉体、精神の健康維持。
- ・ 介護のサービスを受けられるのか心配。通院しているところの薬がもらえなくなるので心配。家が再び建てられるのか心配。
- ・ 健康問題。
- ・ 健康と収入。
- ・ 心身ともに元気でいられるか、医療機関が近くにあるか、日々生活していくのに店があるか（近い所）。
- ・ 環境が激変すると思われるので適応するのに心身を守ることが大切だと考えます。
- ・ 年齢が年齢ですので、病気のことが気になります。今までと違って周囲の人とのトラブルが起きないか気になります。せまい場所に、多くの人に住むということは、細かいことにも気をつけないといけないと思います。もちろん、非常時ですから、お互い、助け合っていかなければいけないと思いますが。
- ・ 高齢にともない、医療関係の通院ができるかどうか、交通の便や、買物等、心配なことはあります。
- ・ 病気がありますので病院が近くにないと困ります。
- ・ 身体の事。
- ・ まず第一に障害者のことを考えてもらいたい。私も 80 才にもう少しでなりますので何かあった時は、姉とともにいきたい。何にも災害がおこらない事を祈ります。
- ・ 診療を受けている病院の治療の継続性。
- ・ 主人の病気の事（主治医がかわると大変困る）、仕事を失う。
- ・ 家内の病気（くも膜下出血）リハビリへの対応が気がかり。
- ・ 健康の事、収入の事。
- ・ 世帯主は過去に脳出血を患い、家族も足が不自由で障害者手帳を所有し、進行性で手術を近い将来的に予定しているので、かなり厳しいと思慮します。
- ・ 老々介護のため。
- ・ 数年前から、薬を服用しております。健康面で、弱冠の不安が有りますので長期避難生活（環境が変わる）において、ストレスがたまり、合併症の恐れが生じる可能性が

高いと考えております。国及び、市町村が国民のために何処まで、支援、救済して頂けるか疑問です。

- ・ 医療（病院）が心配。
- ・ 適切な医療が受けられるか、が心配。
- ・ 定期的に抗ガン剤治療をしておりますので、大変心配です。
- ・ 自身と家族に慢性症を持っているので常備薬の確保が現在一番の問題点です。
- ・ 妻が通院しているので心配、私自身歯が悪いので心配。
- ・ 右ヒザがまがらないので、トイレ、立ったり、座ったりが心配。
- ・ ガンの継続治療をどうするか！
- ・ 現在夫が、グループホームに入居していること。私自身が介護疲れしていて足も悪く、腎臓悪化にて通院中なので現在独り暮らし。たぶん何か起きても避難することも困難かと思われる。
- ・ 健康問題。
- ・ 医療、特に服用している常備薬の補給と睡眠がよくとれない状況。
- ・ 常時内服している薬の確保ができないと心配。
- ・ 総合病院が近くにあること、自分自身と家族の服用してる薬の確保、プライバシーが保たれること、安心して睡眠がとれること、衣食住の安定。
- ・ 現在お薬をいただいているのがなくならないかがとても心配と、お医者さんの居場所とかが心配です

■ 心理面、精神面の負担

- ・ お世話になる家庭の迷惑にならないという思いを常に持ちそうでしたたたまれない。仕事を続けられるのか。
- ・ 現在の生活は安定しているが、避難生活が長く続けば続くほど、ストレス等がたまり心身ともに不具合が生じてくると思う。高齢になればなるほど、気力がなえてくる。
- ・ 親戚の御世話になっても長期間の避難ですとストレスで参ってしまうと思う。
- ・ 狭い環境で周りに気をつかいながらの長期生活は耐えられない。ペットと離ればなれの生活もきつい。かわいそう。
- ・ 精神的苦痛
- ・ ストレスによる体調不良。
- ・ 避難先のご家族の迷惑にならないかどうか。
- ・ 精神的なサポート
- ・ 慣れない環境でのストレスや人間関係による影響
- ・ 避難場所を提供してくれる家族への遠慮や気使いに気が重い。
- ・ 病气して皆様に迷惑かけないか心配です。
- ・ 心の不安、人との調和、忍耐がどこまでできるか

■ 高齢などケアの必要な家族

- ・ 自分のことはどうにかできても、高齢の父や祖母が心配。
- ・ 高齢の母が寝たきりの生活で介護を要します。その母と一緒に避難できる場所がある

- のか。又は母のみ介護施設や入院施設に臨時に早急に対処していただけるかが心配。
- ・ 自分たちの比較的若い世代についての問題は少ないが、両親の世代にあたる高齢者が、避難生活できるかどうか不安。
 - ・ 高齢の義母と同居のため、避難生活に耐えられるか心配。夫も病弱のため不安です。
 - ・ 同居はしていないが2軒先に85才の母がいるので心配。犬やねこの飼育。
 - ・ 自分の母（荒川区以外在住）のこと、娘の持病の治療がきちんと続けられるか。
 - ・ 高齢の親が避難の際、早く歩けないので、移動手段が心配です（車椅子を持っていない）。
 - ・ 同居していないが高齢の親の面倒を看なければならぬこと。
 - ・ 同区内に住む、2人の母（84才と79才）の生活支援。妻の病気。末娘の通学（藤沢市の大学）。
 - ・ 近所に住む高齢の両親。
 - ・ 介護が必要な母の生活全般。
 - ・ 夫が脳こうそくで倒れておりマンションで生活しているけど避難生活でやって行けるかが問題です。
 - ・ 別居親族の介護。

■ 子どもの教育など

- ・ 妻と子どもだけ避難させることになる可能性が高く、転校などでの精神的負担。
- ・ 2～3年の避難生活、家族がそろって暮らせるのか？成長期の子どもたちへのストレスや気持ちの変化など大人（親）がどこまで理解してあげられるのか？？考え出すときりがありません。
- ・ 子どもの学校。家の収入。マンションの場合全壊になった時の修繕費用など。
- ・ 子どもの教育。勤務（親）。社会保険。
- ・ 子どもの心理的変化／疲労。収入。
- ・ 学校、保育所、幼稚園の異動がスムーズにできるから。受け入れる側の体制が整っているから。
- ・ 3才と0才の子どもが二人いるので避難先で必要な物資、医療サービスを受けられるか、子どもたちの精神的ストレスも不安です。
- ・ 子どもの大学生生活。収入の確保ができない事。親との同居、半分ボケているのでその世話をみないといけない事。
- ・ 子どもの心のケア。
- ・ 教育問題。
- ・ 子どもがまだ小さいので心配。
- ・ 子どもの教育。生活費。
- ・ 学校の問題。健康上、病院、薬の準備。清潔にできる場所があるかどうか心配。
- ・ 私自身は仕事の関係（地方公務員）で地域を離れる可能性は少ないと考えているが、子ども（幼児）の生活がどのようになるか。まだ幼いので母から離れて生活ができるのか不安である。
- ・ 子どもたちの進学などの教育面。

- ・ 子どもの心の問題が出てくると思います。上の子は社会人になっていますが、やはり何かしらは出ると思います。その時に親がしっかりしてささえられるようにとは考えています。
- ・ 子どもの成長。

■親族や友人知人とのつながり

- ・ 親戚、友人、知人との連絡
- ・ 信頼してプライベートなことまで相談できる相手がどれくらいいるか。
- ・ 歳を重ね近隣の知人とも別れることが多くなり、少なくなった知人との人間関係がだんだん難しくなりそうに思う。
- ・ 親、兄妹も荒川区内でどうなるか？
- ・ 両親や、姉妹との距離（現状は近所だが離ればなれにならないか）
- ・ 仕事のため、家族と離ればなれになってしまう可能性が大きいこと（都立高校の教員なので、災害時に家族の安全確認後、勤務校での職務（→避難所での活動）につかなければいけない）。
- ・ 同居していない家族のこと、子どもの心のケア。

■情報の入手

- ・ 情報の入手とまわりの人々との関係、つき合い方。
- ・ 正確情報公示の遅延と手段。
- ・ 復興の見込みなどの情報提供。
- ・ 正しい情報が入ってくるかどうか、古い地下鉄など地下関係が沈んで東京がボコボコになっていないかどうか。

■避難所での生活

- ・ 避難所のプライバシーや孤立などのコミュニティー（親世代）が気になります。あと万一地震時に貴重品（銀行通帳や証明書、印鑑など）を持って逃げられなかった場合、どのようにして身元の確認や貴重品の確認や再発行を行うかなど（長期というより、入り口段階での身元の証明、確認など）。

■避難先の確保

- ・ 親族がみな都内もしくはさいたま市に居り、避難する場所が思いつかないのが気がかり。
- ・ 避難先候補が隣の千葉県で同時に被災している可能性あり。その場合、自治体に頼らざるを得ない。
- ・ 親族、子どもたちみな東京なのでどこにも避難できない。年金生活になり生活がどうなっていくかとても不安
- ・ 東京が被災した場合、都民全員が他地へ避難できる場所があるとは考えられない。
- ・ 仮設住宅に入居できるのか？その費用及び生活費用は、どうなるのか？
- ・ 多少遠くても仮設住宅に入居を希望します。

- ・こちらの考えるに十分な生活空間の確保ができるか否か。
- ・先祖代々東京なので避難する地が考えられなく、唯一息子が住んでいる埼玉ですが、このアンケートでつくづく考えさせられた。
- ・実家の方が安心できる、みんな同じ家族のよう。

■避難先での生活環境、プライバシー確保

- ・衣食住に関わるストレス、プライベートの確保。
- ・避難した先の衛生面、パーソナルスペースの確保、騒音…。
- ・プライバシー／収入。
- ・避難生活環境における特に上下水道。
- ・高齢になり、その状況になじめるか精神的に不安です。
- ・密集した場所に住むと生活している時の音などがまる聞こえで気をつかう。ペットのニオイなども気になる。嫌煙家のため分煙をしっかりともらえるか不安。生活物資の確保、性生活の不自由など。
- ・仮設住宅入居者との隣人関係、人間関係トラブル等。
- ・プライバシーの確保とコミュニケーションの形成
- ・共同生活、医療の問題。
- ・プライバシーの問題だと思います。
- ・プライバシーが守られるか？収入（年金）が確保できるかが気がかりです。
- ・プライバシーの確保、人とのつながり。
- ・仮設住宅に住むわけだが、隣同士仲良くやっていけるかそれが心配です。
- ・プライバシー、人との関わり。
- ・私は右手に障害を持っているためトイレに間に合わないことがしばしばあり、おもらしをしてしまうことがあります。そのため、おむつを着用しているため、人目が気になります。とても不安です。
- ・家族に障害者が居るので他人と共同生活は、大変難しい。
- ・周りの人と仲良くできるか心配。
- ・ゴミ分別収集のように、町内会をベースとした避難生活のマネジメント（荒川区や東京都による）を行なうことには反対すると思います。荒川区以外で生まれた者（私のような）には、荒川区の町内会の活動はとても排他的で柔軟性に欠けていると映っています。このままだと、町内会に入っていないまたは積極的に参加していないメンバーの方々は大きな不利益を被る可能性が高いと思います。区民の多様性を十分に反映したマネジメントを構築すべきです。
- ・地域住民関係。

■ペット

- ・ペット（犬）がいるので一緒にいられるような避難所があれば最適。
- ・ペットと同伴で避難できるか心配です。
- ・ペットの飼育はなによりもあてはまる。そのためには自分が避難生活をしていく上で多少の犠牲を払っても惜しくはない。

- ・ ペットを飼っているので一緒に生活をできるか心配。仮設を作ってくれるのか？避難場所がちゃんと確保されているか心配です。
- ・ 集団の場合はトイレ、ペット（中型犬）がいるので、そのこと。
- ・ ペットとの関係。
- ・ 猫2匹といっしょに避難することができるのか否か。

■ 行政に関わること

- ・ 荒川区として具体的に何をしていただけのですか？そちらの方をむしろ知りたいです。
- ・ 避難生活を長期に続ける際、東京都あるいは荒川区から生活の補助支援が満足になされるかどうか、東北の様子を見ているとあまり進歩が見られず、三年経ったにもかかわらず、県民、市民の声は、支援金も届いていないと涙ながらに語っているのを何だか長期荒川区から避難し続けても大丈夫なのかと疑問もある。調査、研究されていても、その時になれば、手も足も出せない状況になった東北がいい例。でもこれは意識調査として記入するしかない事で、100の心配を持ちながら記入しました。
- ・ 3.11なども見ても行政からのニュースがどれくらい避難先にとどくのか？
- ・ 国、自治体のサポート体制が非常に気になります。また、長期避難になった際、人間関係の不安（例えば、避難場所での共同生活など）もあります。

■ 社会、経済全体の混乱

- ・ 工場、会社等の消失による問題が引きおこす多くの事柄、収入等の滅失、従業員の収入、借入金返済等、事業再開が可能か？貯蓄を切りくずし（東京）首都機能のマヒによる投資、投機の収入減等。

■ 復興に関すること

- ・ きちんと復興がなされるのか、現在、東北での復興支援は完全ではないため、今後の生活がとても心配。

■ その他

- ・ 避難生活の想像がつかない。
- ・ 夫婦とも3.11の時に「荒川区に」住んでいないので2人とも震度4以上の経験がなく、昨年北区の防災センターに行き、震度7を経験しました。
- ・ 経験がないのでわからないが凹まず、地域（ボランティア等）活動をしたい。
- ・ ①1人身なので孤独感に落ち入らないよう自分で元気であればどんどん積極的にボランティア的に声掛け運動をして行ければと思います。②家にこもりきりでは元気が出ないのでちょっとしたアルバイトができる仕事を何かしていければと思う。
- ・ スピード！！スピード！！
- ・ 住民票も異動させ、生活拠点を移すだけの事。何も心配することはないと考える
- ・ みなさんわがままがすぎます。がまんして下さい。
- ・ 特にありません

- ・ 特に無し。状況をみて考えます。
- ・ 余り心配では無いです。兄弟も沢山います。
- ・ なし
- ・ なし
- ・ ナシ
- ・ 考えない。
- ・ 外国人のため回答できません。